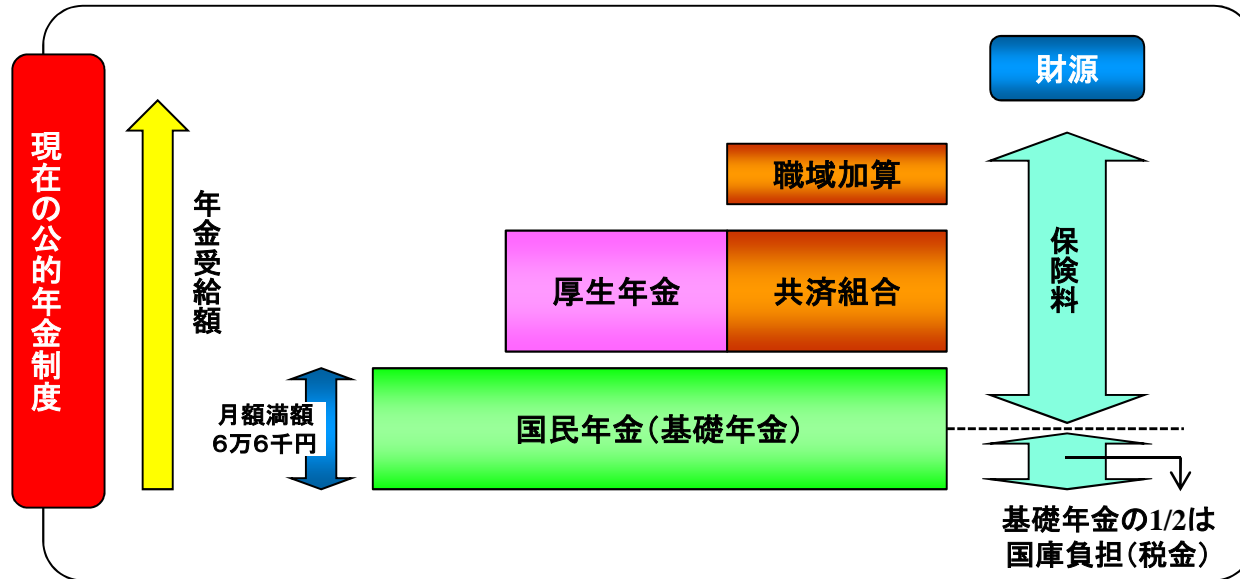


# 公的年金制度改革 ('09/7/27 民主党マニフェスト)

(2011/2/9 作成)



## 年金改革の背景

- ・加入者数の減少  
(H21年度末:約6800万人、前年比62万人減)
- ・年金受給者数の増加  
(H21:約3700万人、前年比110万人増)
- ・年金支給総額が、毎年1兆円規模で増加  
(H21:50.3兆円、前年比1.4兆円(2.8%)増)
- ・3制度間での不公平感
- ・収入不安定による保険料未納の増加  
(国民年金納付率 H21:60% 前年比▲2.1%)

## 改革案のポイント

- ・職業に応じた年金制度ではなく、**一元化された年金制度**へ
- ・所得が同じなら同じ保険料の負担で、納めた保険料を基に受給額計算。**「所得比例年金」**の創設  
(所得比例年金の保険料率は15%(被用者の場合は労使折半)を上限目途)
- ・消費税を財源とする**「最低保障年金」**の創設。月額7万円  
(「所得比例年金」を一定額以上受給できる人は、「最低保障年金」を減額)

